

令和4年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（案）

清須市地域公共交通会議

平成18年6月26日設置

令和2年3月23日 清須市地域公共交通計画策定
(計画期間：令和2年4月～令和7年3月)

令和3年6月9日 フィーダー系統 確保維持計画策定等

令和4年5月31日 令和3年度評価結果送付

1. 【Plan】協議会等が目指す地域公共交通の姿

■ 清須市の地域特性

- 充実した鉄道網・道路網により周辺都市との連携が図られている
- 鉄道網・主要道路と庄内川、新川、五条川によって分断されている
- 市街地の道路幅が狭く、市内の移動利便性が低いという課題を抱えている

⇒ 「きよす あしがるバス」を鉄道路線のフィーダー系統として運行

- 鉄道駅までの移動手段
- 高齢者や主婦層等の移動制約者の日中の交通手段

■ 清須市地域公共交通計画（令和2年度～令和6年度）

➤ 清須市の交通将来像

誰もが移動しやすいまち清須

➤ 交通将来像の実現に向けた基本方針

- 既設の鉄道網を生かした地域公共交通ネットワークの形成
- 地域公共交通を利用しやすい環境整備の推進
- 地域公共交通事業推進のための関係者の連携



2. 【Do】目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

■コミュニティバスのルート・ダイヤ改正（R4.10.1）に向けた協議

➤ 令和3年度第2・3回地域公共交通会議

- 専門部会の協議内容を反映させたルート改正案並びに他ルート及び鉄道との接続を考慮したダイヤ案について協議した

○ルート改正案

・「新清洲駅北口」バス停を新設

→名鉄新清洲駅北口に駅前ロータリーが整備されることに伴い、
バスを経由させることにより、市内外の移動利便性が向上

・清洲総合福祉センターへ新たにサクラルートを経由

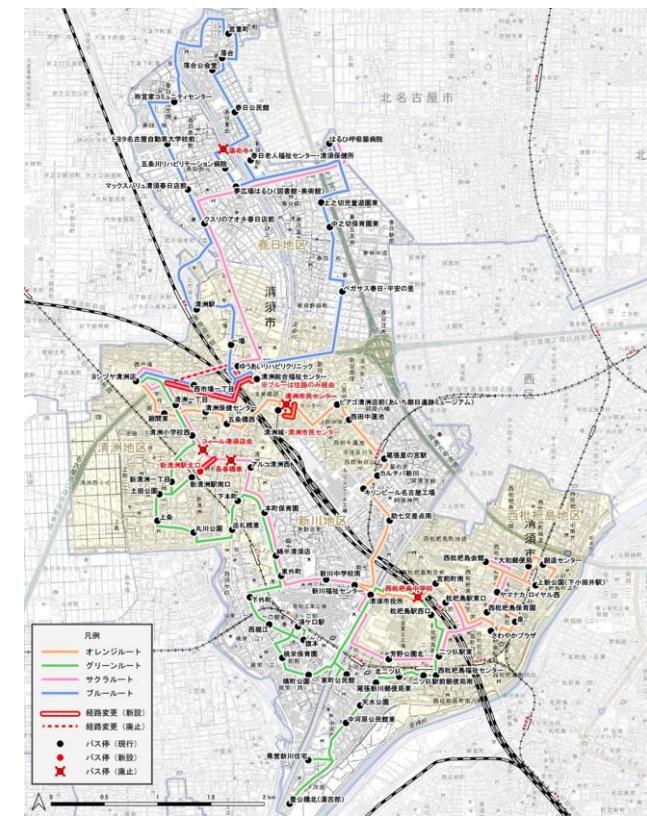
→ブルールート（春日循環）のみの経由であったため、春日地区以外からのアクセスが改善

・経路の単純化または時間短縮を図れる箇所を見直し

→時間短縮が図られ、以前から課題となっていた慢性的な遅延の軽減や冗長なルートを改善

その他の改正点及び各会議の資料・会議録は以下のHPに掲載

https://www.city.kiyosu.aichi.jp/shisei_joho/shisei_sanka/fuzokukikan_kaigi_kokai/kaigi_kekka/3nendo/03-1kokyokotuu.html



ルート改正案

2. 【Do】目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

■コミュニティバスのルート・ダイヤ改正（R4.10.1）に向けた協議

○ダイヤ改正案

・ブルールートに帰宅に利用しやすいダイヤの導入

→利用者の多くが利用する清洲駅であるが、夕方以降の利用が見込めない現状を受け、ヨシヅヤでの時間調整のための停車時間を見直し、清洲駅から帰宅しやすいダイヤを導入する
(ダイヤ比較)

	JR清洲駅 (鉄道)	JR清洲駅 (バス)	ヨシヅヤ (着)	ヨシヅヤ (発)	春日公民館	所要時間
改正前	17：43	18：00	18：09	18：20	18：46	1h 3min
改正後	17：58	18：04	18：13	18：15	18：40	42min

21分短縮

・ヨシヅヤ、ヤマナカ・ロイヤルでの買物時間を確保

→買物でレジ等が混んでいると次便（帰りの便）に間に合わないことがあるという意見を踏まえ、次便までの間隔にゆとりを持たせ、買物時間を確保できるよう配慮した

	ヨシヅヤ清洲店（サクラ）		買物時間	ヤマナカ・ロイヤル（オレンジ）		買物時間
改正前	11：11着	11：41発	30分	13：00着	13：35発	35分
改正後	11：03着	11：39発	36分	12：54着	13：34発	40分

+6分 +5分

2. 【Do】目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

■ルート・ダイヤ改正に向けた周知等について

・ポスター、チラシの作成・配布

市内公共施設、商業施設及び鉄道駅などにポスター180部、チラシ5,540部を掲示・配架

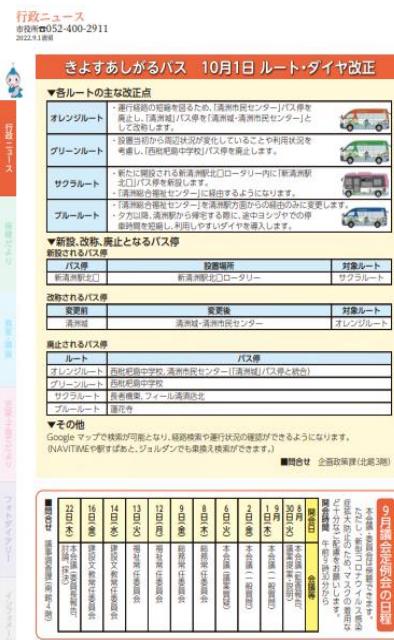
・市ホームページ、広報紙及びバスロケーションシステムで周知

改正概要のほか、乗換検索サイトの周知についても同時に記載

広報については9月号にチラシを、10月号に時刻表・ルートマップを折込み全戸配布

・時刻表・ルートマップのレイアウト変更

時刻と場所を同時に探すことができるよう片面に集約し、ルートマップをデフォルメから地図形式に変更し、位置関係を分かりやすく改善した



▲時刻表・ルートマップ (改正前)

▲(左) ポスター・チラシ表、(右) チラシ裏
▼ポスター掲載写真 (鉄道駅・医療機関)



▲広報9月号記事



▲時刻表・ルートマップ (改正後)

3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

自己評価実施日：令和4年12月21日（水） [令和4年度第2回清須市地域公共交通会議]

■ 収支率（地域公共交通計画策定時の目標収支率を維持するよう設定）

目標値	実績値	達成状況
8.9%	8.0%	未達成

■ 利用者数（過去増加率を元に設定）

ルート	項目	目標値	実績値	前年比	コロナ前比 (R1年度比)	達成状況
全 体	年 間	93,200人	72,625人	105.7%	90.4%	未達成
	1便あたり	5.9人	4.6人			未達成

- 前年比から見ても、ルートに差はあるものの順調に回復している状況であるが、住宅街にある停留所の利用者数が伸びているのに対し、**主要な施設がある停留所の利用者は未だ戻りきっておらず、日常の移動に利用する方が増えてきている**と考えられる

ルート	項目	目標値	実績値	前年比	コロナ前比	達成状況
オレンジ	年 間	17,800人	12,900人	102.5%	88.1%	未達成
	1便あたり	4.5人	3.3人			未達成

- 昨年度と同じ傾向が続いており、**鉄道駅やスポーツ複合施設のあるバス停は依然として回復度合が弱く、コロナ前比が88%に留まったが、年度後半は回復傾向が見られ、9月にはコロナ禍前の実績近くまで回復しつつある**

3. 【Check】計画の目標の達成状況とその理由についての考察

ルート	項目	目標値	実績値	前年比	コロナ前比	達成状況
グリーン	年 間	27,600人	24,746人	109.7%	102.4%	未達成
	1便あたり	7.0人	6.3人			未達成

- どのバス停も回復傾向が見られ、特に住宅地近くのバス停の利用者が増えており、コロナ禍前の実績を唯一上回ったが、複数の商業施設、鉄道駅、入浴施設等の目的地となるバス停の利用者は戻りきっていない状況である

ルート	項目	目標値	実績値	前年比	前々年比	達成状況
サクラ	年 間	30,000人	22,200人	104.6%	85.3%	未達成
	1便あたり	7.3人	5.6人			未達成

- 昨年度と傾向は変わらず、新型コロナウイルスワクチンの個別接種に伴い、接種会場となっている病院のバス停は利用者数が一時的に大きく増加したが、コロナ禍前に多くの利用があつた図書館や美術館、スポーツ複合施設などは未だ利用を控える方が多く、大きな影響を受けている

ルート	項目	目標値	実績値	前年比	前々年比	達成状況
ブルー	年 間	17,800人	12,779人	103.4%	82.4%	未達成
	1便あたり	4.5人	3.3人			未達成

- 利用者の半数近くを占める清洲駅とヨシヅヤであるが、JR線に乗り換えできる清洲駅は回復傾向が見られる一方で、買物のほか、当路線で唯一他ルートとの乗り継ぎができるヨシヅヤが依然として戻りきっていないことから、他ルートへ乗り継ぎをして出かけることや買物でバスを利用することを控えている人が一定数いると推察する

■自己評価から得られた課題

- ・利用者数はルートにより差はあるものの徐々に回復しているが、商業施設や図書館等の主要な施設がある停留所の利用者数が戻りきっていない

⇒ルート・ダイヤ改正を実施し、より利用しやすい交通ネットワークにするとともに、まつり等のイベントに合わせて利用促進活動を実施することで、改正して便利になったあしがるバスを認知してもらい、利用するきっかけづくりを図る必要がある

■対応方針

①あしがるバスのルート・ダイヤ改正（令和4年10月1日施行）による利便性向上

- ・令和3年度第3回清須市地域公共交通会議で決定したルート・ダイヤ改正案を施行し、清須市内の交通ネットワークの更なる利便性向上を図る
- ・新ルート・ダイヤに対応したGTFS-JPをオープンデータ化するとともに、Google社へGTFS-RTを提供し、遅延情報を加味した検索を可能とし、地域公共交通全体の利便性を高める

②あしがるバスの利用者数回復に向け、啓発活動の実施とルート・ダイヤ改正の周知継続

- ・まつり等のイベントに合わせ、一日無料デーやPRブースの設置など、利用促進に繋がる啓発活動を実施し、その活動を通して、ルート・ダイヤ改正やバスロケーションシステム、乗換検索サービス等の周知も併せて行い、あしがるバスの新規利用者獲得や以前の利用者の呼び戻しを図る
- ・啓発活動の1つとしてアンケート調査を行い、ルート・ダイヤ改正における市民・利用者の反応を把握し、今後の取り組みに活かす

5.直近2年間の二次評価の活用・対応状況

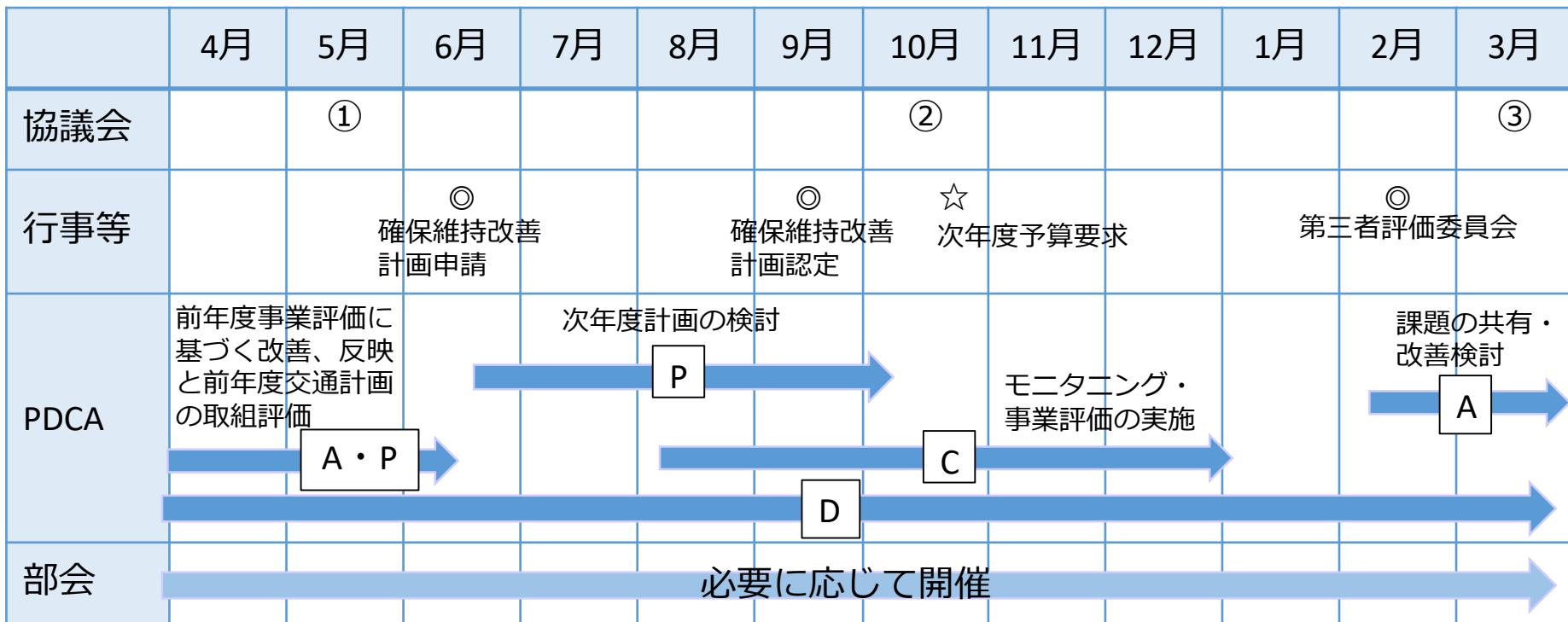
年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回	コミュニティバスの見直しにあたっては、鉄道とあしがるバスの乗継を考慮して利便性の向上を図る等、利用者の視点からの検討を進められるよう期待する。	令和4年10月のルート・ダイヤの見直しに向けた協議では、駅前ロータリー整備による新たなバス停設置のほか、鉄道利用者の乗継利便性を考慮し、ダイヤ接続に配慮するとともに、帰宅時の利用に便利なダイヤを導入することを決定した。	引き続き今回のルート・ダイヤ改正によって変更になった点を利用促進イベント等を通して周知するとともに、新設したバス停や帰宅便ダイヤの利用状況について調査・分析をする。
	コミュニティバスの利用促進イベントやバスロケーションシステムの利用啓発等、新型コロナウィルスの影響も勘案しながら、積極的に行われるよう期待する。	ルート・ダイヤ改正の啓発と同時にバスロケーションシステムや乗換検索サイトの利用啓発も行い、あしがるバス全体の利用促進を図った。	利用者数の回復に向けて、利用促進イベントを開催するとともに、遅延情報に対応したGoogle乗換検索を可能とし、更なる公共交通の利便性向上を図る。

※前回：令和4年3月10日

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前々回	コミュニティバスのルート・ダイヤの最適化に向け、市民の声・ニーズを把握し、今後検討する再編案に活かされることを期待する。	<ul style="list-style-type: none"> あしがるバスのルート・ダイヤの見直しに向けて、市民アンケート調査等を実施し、それにより得られた市民の声や利用者のニーズ等を把握した。 地域公共交通会議では、要望や対応策について、意見シートを活用しながら対応できるものか検討し、ニーズに合わせた利便性向上に向けルート改正案の協議を進めた。 	更に利用しやすい交通ネットワークの構築を目指し、ダイヤ改正案の協議を進め、ルート・ダイヤの改正案を固める。
	鉄道網を活かすとともに、周辺自治体を含めた公共交通ネットワークの形成に向け、関係者の一層の連携を期待する。	北名古屋市のコミュニティバスとの接続を可能とし、広域的な公共交通ネットワークの構築に向けて連携を図った。	令和4年10月のあしがるバスのルート・ダイヤ改正に合わせ、改訂する時刻表・全体ルート図のルートマップ上に北名古屋市コミュニティバスとの接続を明記する。

※前々回：令和3年3月1日

<年間単位の進捗管理・評価スケジュール>



【協議会の実施状況】

<令和3年度>

第1回協議会	令和3年6月9日	主な議題：ルート・ダイヤ改正に向けた検討事項の整理等
専門部会	令和3年8月23日	主な議題：ルート・ダイヤ改正素案について
第2回協議会	令和3年12月20日	主な議題：ルート・ダイヤ改正案の検討等
第3回協議会	令和4年3月29日	主な議題：ルート・ダイヤ改正案の検討等

<令和4年度>

第1回協議会	令和4年5月24日	主な議題：地域公共交通計画の変更案等
第2回協議会	令和4年12月21日	主な議題：確保維持改善事業の事業評価案等